

第12回「いのちの授業」作文の受賞について

神奈川県教育委員会では、各学校における「いのちの授業」の更なる充実を図るため、平成25年度から「いのちの授業」大賞作文募集を実施しています。

令和6年度は、13,102作品の応募の中から、審査会を経て選ばれた11作品の作文作者と授業実践者が表彰されました。

本市から応募した作品の中から、以下の作品が入賞し、表彰されましたので、報告いたします。

1 受賞作品

受賞名	県PTA協議会会長賞
タイトル	「わたしのはなし」
筆者	長井小学校 2年 牧野 清音(まきの さやね)
授業実践者	長井小学校 教諭 石橋 直生(いしばし なお)

2 表彰式

令和6年12月12日(木) 神奈川県庁 本庁舎 大会議室

	受賞名	学校名	学年	作者氏名 (よみがな)	授業実践者氏名 (よみがな)	授業実践者 役職等
1	大賞(知事賞)	伊勢原市立 成瀬中学校	3年	小杉 菜々子 (こすぎ ななこ)	伊佐 拓真 (いさ たくま)	教諭
2	教育委員会賞	私立湘南学園 小学校	4年	村上 湊太 (むらかみ そうた)	星野 嘉住 (ほしの かずみ)	教諭
3	神奈川新聞社賞	私立湘南学園 小学校	4年	越井 実音 (こしい みと)	重田 唯子 (しげた ゆいこ)	養護教諭
4	t v k 賞	相模原市立 相陽中学校	1年	古田 陽世莉 (ふるた ひより)	橋本 美樹 (はしもと みき)	教諭
5	県P T A協議会会 長賞	横須賀市立 長井小学校	2年	牧野 清音 (まきの さやね)	石橋 直生 (いしばし なお)	教諭
6	ともに生きる社会か ながわ憲章賞	川崎市立 宮内中学校	3年	向井 美結 (むかい みゆう)	高瀬 椋平 (たかせ りょうへい)	教諭
7	優秀賞	川崎市立 下布田小学校	2年	高橋 李緒 (たかはし りお)	高橋 智美 (たかはし ともみ)	保護者
8	優秀賞	伊勢原市立 竹園小学校	3年	森山 心陽 (もりやま こはる)	森山 瑠美 (もりやま るみ)	保護者
9	優秀賞	伊勢原市立 伊勢原中学校	3年	清水 葵 (しみず あおい)	陳 央仁 (ちん おうじん)	医師
10	優秀賞	県立横浜立野 高等学校	2年	藤森 昂 (ふじもり こう)	田中 浩平 (たなか こうへい)	講師
11	優秀賞	県立相原 高等学校	3年	須山 ゆら (すやま ゆら)	相澤 拓朗 (あいざわ たくろう)	教諭

神奈川県PTA協議会会長賞

「わたしのはなし」

横須賀市立長井小学校

二年 まきの さやね

わたしは、どうとくのじゅぎょうで、「おとうどのたんじょう」というお話をききました。そのあとに先生が

「お家の人からもらったもの、どんなものがある。」

とみんなにしつもんしました。みんなは、ゲームやおもちやなどいろいろなるものをこたえました。先生は、

「すべて目に見えるものだね。」

といました。わたしは、目に見えない大切なものはなんだろうと、考えました。すぐに思いうかんだのは「いのち」でした。

わたしのひいおばあちゃんは、わたしがお母さんのおなかにいるときに天ごくへいってしまいました。でも、わたしのひいおばあちゃんは、すごいです。わたしがお母さんのおなかにいることは、まだ言っていないかったのに

「おなかに赤ちゃんいるの。」

ときいてきたみたいです。おなかも大きくなっていないのにわかっていました。そのときひいおばあちゃんはいんしてあるときで、九十九さいまで生きました。わたしは、ひいおばあちゃんに会ったことはないけれど、生まれてくるわたしの「いのち」をかんじてくれたのだと思います。天ごくへいってしまったけど、空から見まもつてくれていると思うと、うれしいです。

わたしのおじいちゃんはきゆうきゆう車で、人のいのちをすくうしごとをしていました。まだ小さかったのであまりおぼえていけないけれど、おじいちゃんの家には、きゆうきゆう車といっしょにうつつているしゃしんがかざられていました。かっこいいし、すごいと思いました。わたしの三さいのたん生日に天ごくへいってしまったのはかなしいけれど、おじいちゃん分まで元気に生きたいと思いました。

わたしのまわりには、天ごくへいってしまった人がいるけれど、わたしがうまれてくることをたのしみにまっけてくれたんだと思います。だからいのちをもっともつと大切にしたいと思います。みなさんもいのちを大切にしてください。